

住むところは 庄原がいい

Case 6. 特別養護老人ホーム職員

name	age	home town
城田 京志郎	22	庄原市東本町

◆Uターンの経緯

はじめは庄原市内の工場に就職し、その後広島市で調理の仕事に就きました。どちらも自分には合わないと思って退職しました。どんな仕事か自分に合っているのか考え直したときに、浮かんできた「おじいちゃんおばあちゃんが好きだから介護の仕事に就きたい」という思いでした。自分は、人こみがあまり得意ではないし、家族がいて、安心感ある田舎のほうに住みたかった。そこで実家に帰ることを決め、高野町の特別養護老人ホームで働き始めました。

◆遊ぶなら都会だけど、 住むなら庄原

正直言うと、遊ぶならやっぱり広島のほうが楽しいですよ。でも毎日毎日遊ぶわけじゃないので、遊びたいときにだけ出掛けたいと思うんです。広島と庄原だったら1時間ちょっとあれば行けますからね。だから住むところは庄原がいい。これだけきれいな夜空と、澄んだ空気は庄原にしかないと思います。ぼくはその時間が特に好きで、心から落ち着きます。



◆職場での いろんな人との関わり

入居者の方との何気ない会話が楽しいです。人との会話の中身って毎日違うので、そこが機械的な仕事との違いだと思います。一緒にレクリエーションを楽しんだり、お茶をしたり、近くのリング公園に行ったりといったいろんな時間を過ごす中で、「あなたの顔を見たら元気が出る」と言ってもらえることが、とても嬉しいです。高野という地域は、これまで馴染みがなかったのですが、少し不安もありましたが、先輩職員がかわいがってくれたので、不安もすくなくなりました。他の職員とは年齢が少し離れていますが、その方が頼りやすかったり、変な気遣いがあったりするので働きやすいと感じています。

自然が好きな人にとって、 庄原の暮らしは たまらんとおもいますよ

Case 5. 森林組合職員

name	age	home town
田村 栄太	30	庄原市市町

◆Uターンの経緯

庄原を離れたのは高校進学のことです。東広島市の高校から野球推薦の話をいただき、進学を決め、卒業後も高校野球部での実績を活かして竹原市の民間企業に就職しました。帰るきっかけになったのは、肩を故障し、ピッチャーとして野球を続けることが困難になったことです。長男ということもあり、庄原にはいずれ帰ろうと考えていたので、いいタイミングかなと思い、帰ることを決めました。

◆子どもから大人までが 住みやすい環境

ここは子どもを育てるのにも良い環境だと思います。豊かな自然や、市の支援があることもあって、大きな負担を感じずに育児ができています。市外出身の妻も、庄原の「子育て支援センター」という市の施設で出会ったお母さん友達と、ご飯に行ったりしてすっかり馴染んでいます。誰もが住みやすい、ほっとする環境がここにあります。自然が好きで、静かなところで家族とのんびり暮らしたいと考えている人。そんな人にとって庄原の暮らしは「たまらん」と思いますよ。

◆親しみある暮らし

帰る前は友達のみならず市外に出ているんじゃないかと不安でしたが、自分と同じように帰ってきている友達も結構多かった。安心感というか、親しみや懐かしさを感じました。仕事は、体を動かす職に就きたかった。で、義弟に紹介してもらった西城町森林組合に決めました。常に危険が付きまとい、天候にも左右される山の仕事は想像以上にハードですが、きれいな山を見たときは、すごい達成感とやりがいを感じますね。





帰ろうや倶楽部

この『帰ろうや倶楽部』は「田舎に帰りたいけど就職先が…。」「庄原でどんな暮らしができるの?」etc…そんな思いをお持ちの方に、庄原の企業や自治組織、市民団体、市役所のオール庄原で情報をお届けし、応援するサービスです。就農・就業情報やふるさと情報、住まいの情報などを入会いただいた方にお送りします(入会無料)。Uターン・Iターンどちらの方も大歓迎ですので、庄原市役所自治定住課までお気軽にお問い合わせください。

「地方だからできない」
ではなくて、
「地方だからできる」

Case 7. ホテル社員 (プライダル、予約受付担当)

name	age	home town
瀬尾 和稀	21	庄原市東城町

◆Uターンの経緯
プライダルプランナーのスキルを、庄原グランドホテルで磨きたいという一心で庄原に帰ってきました。よく目にする表向きの華やかな姿だけではなく、現場の実態をきちんと知りたくて、いろんな企業に面会のアポイントを取っていた時に、快く対応してくださったのがこのホテルでした。その時話した従業員の方の親切な態度と、どこよりも印象的だったといったチャペルが私を惹きつけました。



◆やりたいことが実現できる場所
都会で培ったいいところ、地方のいいところをミックスさせることで、自分を成長させる大きなステップアップに繋がります。ここでは、自分が本当は何をやりたいのかを人に流されることなく、自分自身で決められます。「田舎」というだけの見方に捉われず、見方を変えればきっとここにはチャンスがあって、自分のやりたいことが実現できる場所だと思います。

◆「ここにしかないもの」
私の働いているホテルは、人を本当に大切にします。都会では、まず考えられないくらいお客様との距離が近いこともあって、心を温かくさせる家族みたいなやり取りがしょっちゅうあったり、私の顔をわざわざ見に来てくれる仲の良いお客様も多くいらっしゃいます。また、新人の私でもいろんな仕事を任せていただけるので、「多くの人に喜んでもらいたい」という私の思いを反映できる環境があり、それを活かすイベントの企画もさせていただいています。「地方だからできない」ではなくて、「地方だからできる」ことも多くある。そんな話を職場の後輩とよくします。



facebookページ
庄原いちばん ええね!

庄原市の魅力を広く世界に発信するために、facebookページ「庄原いちばん ええね!」を開設しています。市の若手職員たちが、「ええねレポーター」として、市内の出来事やイベント情報、市役所からのお知らせなど、庄原市に関するあらゆる情報を発信しているので、ぜひチェックしてください!

庄原たまらん!



access



【車で】

広島 I.C	約91km 約1時間20分	庄原 I.C
尾道 I.C	約68km 約1時間5分	
松江玉道 I.C	約100km 約1時間14分	
松山 I.C	約184km 約3時間20分	
門司 I.C	約274km 約3時間30分	東城 I.C
岡山・倉敷 I.C	約107km 約1時間30分	
高松中央 I.C	約171km 約2時間30分	東城
吹田 I.C	約247km 約3時間10分	
福山	約60km 約1時間30分	

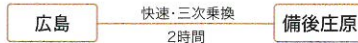
【高速バスで】

出雲	中国JRバス・一畑バス 1時間39分	三次	各種交通機関	庄原
松江	一畑バス・広島電鉄 1時間57分			
米子	日本交通・日ノ丸自動車・広島電鉄 2時間3分			
広島	備北交通 1時間50分			
新大阪	中国バス・阪急バス 最短3時間42分			東城

【空路で】



【JRで】



定住に関するご相談は
庄原市役所自治定住課

☎ 0824-73-1257

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10-1 FAX:(0824)72-3322

メールアドレス teiju@city.shobara.lg.jp

web site www.city.shobara.hiroshima.jp